

## ～いざという時に備えて～ 「旭・学校いのちの日」

6月17日に「旭・学校いのちの日」として、「いのち」について考え、保護者とともに地震防災について学びました。まず、東日本大震災の復興にボランティアとしてかかわった桜丘高校の教員と卒業生の話を聞きました。震災直後の被災地の様子だけでなく、「風呂の水は常に貯めておく」とい、「寝室に車のジャッキを置いておく」と逃げるための隙間をつくることのできる」など、災害に備える知恵も教えていただきました。午後からは、旭校区消防団による放水訓練の様子を見せていただいたり、親子一緒になって非常時に役立つグッズについて学んだりしました。また、避難所ですぐに使えるスリッパを新聞紙で作りました。下校時には、保護者や地域の人と一緒に通学路の安全マップを見直しました。

いざという時の備えをし、校区の方たちと一緒に安心・安全な校区であり続けることを願っています。



〔PTAの方と一緒に「備えておく」と便利なグッズ」紹介〕



〔親子で新聞紙を使ったスリッパ作り〕



〔旭校区消防団による「放水訓練」の披露〕



〔通学路の危険箇所はどこかな？「通学路安全マップ作り」〕